

## 第7期計画で設定している目標指標の取り扱いについて

障害福祉計画指標	介護事業計画指標	指標（目標項目）	現況	2020年度末	2024年度末	見直しの方向性	出典・備考
		精神病床における急性期（3か月未満）入院需要（患者数）	891人 (2018年度)	1,177人	1,176人	継続	都道府県入院需要推計ワークシート（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部） ※2020年度末及び2024年度末時点の目標値は、平成26（2014）年度に上記ワークシートで示された推計人口から算出されている。
		精神病床における回復期（3か月以上1年未満）入院需要（患者数）	1,214人 (2018年度)	884人	909人	継続	
○		精神病床における慢性期（1年以上）入院需要（患者数）*1	3,092人 (2018年度)	2,785人	2,152人	継続	
○		精神病床における慢性期入院需要（65歳以上患者数）*1	2,086人 (2018年度)	1,886人	1,563人	継続	
○		精神病床における慢性期入院需要（65歳未満患者数）*1	1,006人 (2018年度)	899人	589人	継続	
		精神病床における入院需要（患者数）	5,197人 (2018年度)	4,846人	4,237人	継続	
○	○	地域移行に伴う基盤整備量（利用者数）*1, 2	—	564人	1,286人	継続	
○	○	地域移行に伴う基盤整備量（65歳以上利用者数）*1, 2	—	330人	764人	継続	
○	○	地域移行に伴う基盤整備量（65歳未満利用者数）*1, 2	—	234人	522人	継続	
○		精神病床における入院後3か月時点の退院率*1	59% (2017年度)	69%	—	継続	
○		精神病床における入院後6か月時点の退院率*1	77% (2017年度)	84%	—	継続	第6期障害福祉計画でも引き続き設定することから、医療計画においても継続する。
○		精神病床における入院後1年時点の退院率*1	86% (2017年度)	91%	—	継続	
○		<b>精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数</b>	303日 (2016年度)	—	316日※	新規	
		認知症サポート医養成研修修了者	146人 (2018年度)	176人	—	継続	県保健福祉部調査

\*1については宮城県障害福祉計画、\*2については介護保険事業（支援）計画との協調を図ることとしています。

\*網掛け部分は第5節精神疾患で独自に設定している指標

\*現況値はNCNPの精神保健福祉資料（NDBデータベース）等で公表されている最新の数値を記載しています。

【参考】厚生労働省医療計画の見直し等に関する検討会からの示された指標項目の見直し案

指標（目標項目）	中間見直しに係る取り扱い
●依存症専門医療等機関（依存症専門医療等機関，依存症治療拠点機関）数の追加	宮城県の医療基盤等の進捗を測る項目として馴染まないことから取り入れない
●摂食障害治療支援センター数の追加	
●てんかん診療拠点機関数の追加	
●精神科救急入院料を算定した病院数の追加	
●精神科救急医療施設（病院群輪番型，常時対応型）数，外来対応施設数及び身体合併症対応施設数の追加	
●精神科救急医療体制整備事業における受診件数の追加	
●精神科救急医療体制整備事業における入院件数の追加	
●地域平均生活日数へ変更	※第6期障害福祉計画で必須項目となっていることから指標を追加する
（現行） 精神病床における退院後3・6・12か月時点の再入院率の削除	・宮城県では未設定項目
●深夜・休日に初診後に精神科入院した病院数の削除	・宮城県では未設定項目
●深夜・休日に初診後に精神科入院した患者数の削除	
●重点指標を各疾患の精神保健医療体制の高度化に資する指標及び拠点医療機関等の指標に変更  （現行）各疾患の入院及び外来診療している医療機関数	宮城県の医療基盤等の進捗を測る項目として馴染まないことから取り入れない  ・宮城県では未設定項目